いわき民報
發行所 平市田町48 電381 176 1222
いわき民報社
編集兼印刷發行人 田原登

競輪場敷地問題化
教會の墓地を二重に買收

市營競輪場設置問題が市民の間にきびしい批判を受けて來た際、今度はこの敷地問題にからみ、カトリック教會が墓地として既に購入ずみの土地を、登記未濟を奇貨とし地主に對し一方的に賣買契約を破棄せしめ、强引に二重買收を行い正式市會の議決もせず登記した不正行爲が問題となり、鈴木市長の態度如何に依つては、市長を相手どり『地主を脅迫して土地を買いとつた』ことを理由に返還訴訟を起すほかPISにも提訴する空氣濃厚で、これ以上陰謀と策動を用いると鈴木市長の進退にも波及する重大問題化するおそれあるため、三十日に約束されている鈴木市長とグローロ神父の再會見が括目されている

神父さん市長と會見
市當局の出ようで訴訟提起

問題になつている土地は茨城縣下妻町居住故山崎七郎氏所有（子息山崎巖の祖父齋藤興吉後見）舊飯野村谷川瀨字根木作地内の山林七反十六歩で昭和二十三年以來平市十五丁目丸茂工業所鹽谷茂雄氏の土取り場に成つて居り、既に半分位土を取り去つて四反歩ほど平地化されている、カトリック教會のグローロ氏は早くからこの土地を教會の墓地にすることを熱望し、鹽谷氏を介して購入方を依頼、鹽谷氏は當初を管理している山崎淸七氏に數回折衝を重ねたがラチが明かぬため、直接地主に交渉し、去る五月二十三日鹽谷氏宅に於て、來平した齋藤興吉さんとの間に十万円で賣買契約を結び、內金一万円を渡して買收したものである、ところが、時恰も競輪場設置計畫が市當局に於て進められ前記山林地帶を第一候補地に決定したが、既に鹽谷氏が買約濟みと知るや市當局は狼狽を極め、新所有者であるカトリック教會にロクロク相談もかけず、直接地主と强談し、委任狀をもつて一方的に鹽谷氏に對して解約通知を發し、二重に土地を買收して十五日に登記をして了つた、これを知つたグローロ神父は憤慨して二十一日鈴木市長を訪問

『私が買約ずみの土地を市役所で登記したとのことであるが事實か』と訊したのに對し、鈴木市長は『市役所が競輪場の用地に買收して登記した』と確答した爲グローロ神父は『市役所が登記しても、私がそれより先に買い取つたものである、からあの土地は私のものです、これから整地のため杭を打ちに行きますが差支えありませんか』と念を押され鈴木市長も困ぱいし、十日間の猶豫を乞い三十日までに善處したい旨確約して一應會見を打切つたが、グローロ神父は三十日までに市役所から土地を返還するものと信じて居り、若し言を左右して讓らぬ場合は二十一日に申し出た通り、グローロ氏が直接杭を打つことになるらしく、一方鹽谷氏は市井、大嶺兩辯護士を代理人として土地返還の訴訟を提起すべく準備を進めている

不正は正す
グローロ神父强硬

グローロ神父から强硬な申出でを受けた市當局は極度に狼狽し、三十日の會見を前に事前工策に狂奔し、伊藤一、高橋龜松、豬狩庄平、小松、高木兩市議等相次いで教會を訪ね、泣き落しの手を用いているが、グローロ神父は『不正行爲は飽くまで糺さねばならぬ』と非常に强い意見で訪問の記者に次のようなことを語られた

日本の法律がどうあろうとも事前に教會が買つた土地に對し、新しい所有者に一言の挨拶も無く、一方的に元の地主から二重に買收して登記するようなことは道義上許されるべきものではありません、登記をすませたとしても土地は私のものです、三十日に市長と會見する約束をしましたから、その時の話がどうであつてもすぐ整地を始めるつもりです、權力に依つて不正が行なわれたのに屈していると、惡いことがはびこり、社會の秩序が保たれませんどのような話があつても私は正しいことを實行します

競輪場敷地 斯くして奪取（上）
市井辯護士に聽く

鹽谷茂雄氏の代理人として地主の齋藤興吉さんと會見し、折衝に當つた市井辯護士の話を綜合すると、問題の土地を二重買收に至る經路は次のようである

鈴木市長、阿部助役、競輪場設置委員の石山、永野、花澤、大塚、馬目市議等は『鹽谷が金儲けのため競輪場の豫定地を買收した』と宣傳し阿部助役は二百万円石山、花澤、永野、大塚市議等は百万円、鈴木市長は五十万円要求したと鹽谷氏の要求金額をまちまちに吹聽しているところに怪しむべき點がある

二、競輪場の豫定地を選んだのは五月に入つてからであるが、グローロ神父から鹽谷氏に墓地として買收を依頼したのが昨年教會建設當時からであり、鹽谷氏が土地管理人の山崎淸七氏に交渉開始したのは昨年の暮頃からであつた、山崎管理人は舊正月に地主のところに行き交渉して見ると約束しラチがあかぬため、三月頃地主の兄弟である東北配電會社の渡邊氏に鹽谷氏が會つて地主の住所を聞き、四月の初旬『教會の墓地にしたい』土取りした跡地買收方を直接地主へ手紙を出し、その返事に『舊正月山崎からも話しがあつた、その時は賣る意志は無かつたが今度は賣りたい』の手紙が五月一日附で鹽谷氏に來て、二十三日に齋藤興吉さんが來平、教會側は切り取つた跡地一反歩位買收希望に對して、地主側から七反歩全部買つてくれと要望、一般的には七万円位の價値であるが、孫の教育費にしたいからと十万円を主張し結局十万円に買收し、契約書を入れて內金一万円渡した、本人も大喜びで禮狀が來ている、從つて競輪場の豫定地に成つたから買つたので無く、墓地の交渉は早くから進められた落渉が澤山あり、金儲けに鹽谷が買つたというのは宣傳の爲のでたらめだ

三、鹽谷氏が最初に市側から交渉受けたのは六月五日馬目、石山兩市議が市役所附近で會い、用談ありと市應接間に招じられ『貴下の買つた土地が競輪場の敷地に豫定されているから讓つてくれぬか』と交渉受け、鹽谷氏は『教會の墓地に賣つたのだから困る、まだ關面の調査も終つていない』と一應拒つた、第二回目は同七日馬目、石山兩市議が鹽谷氏宅を訪ね、讓渡方の再交渉を爲し、神父に相談して見ると言延べて金錢問題まで進まず別れた、交渉は後にも先にもこの二回限りである

四、市役所側が最初地主を訪ねたのは五月二十六日、永野市議單身で、このとき地主から『教會の墓地に賣つた、必要なら鹽谷氏に話されたい』と拒わられた、次は馬目、石山兩市議が鹽谷氏を訪ねた翌日の八日、石山、永野兩氏が出張、この際も地主は『こちらから必要以上の土地を買つて貰つたのだから今更どうにもならぬ』と拒つた、その際兩氏は讓らぬと十數回會見したが讓らぬと食言していた、その晩宿から地主を招待して來たが拒り狀に市の土產品をつけて返してやつたところ、翌九日朝再び訪ね、市役所に賣つてくれねば三日でも四日でも歸らぬと病氣中の齋藤老人にねばり、遂に土地賣買解約の白紙委任狀と平市に賣るという石山市議に對する委任狀を獲得して歸平した（つゞく）

勿來鑛も妥結
條件附で會社案呑む

大日本勿來炭鑛勞組では二十四日深夜まで會社側と第十回目の團体交渉をもち會社第二次案の賃金七%値下げ、從業員百五十六名の整理問題に就き協議した結果

賃金に就いては本年六月一日から九月三十日迄現行賃金を七%値下げする、この場合一ヵ月の經濟出炭は一万二千屯から一万二千五百屯迄を必要とし平常の狀態でこの能率が百屯づつ上下するに從つて〇、五%の賃下げ賃上げをする但し値下げは十%を越さない、十月以降の賃金は强力値上の努力に進む、百五十六名は整理し磯原坑開坑と共に採用する被解雇者に對しては豫告手當、平均賃金の三十日分と退職手當は退手規定により全額（平均一人當り五万円）を支給する、なお職員に就いては別途協議すると妥結し鈴木所長と淺野組合長との間に体協約に假調印を行つた、二十八日組合大會を開き正式決定するが四月初旬以來の同爭議も遂に円滿解決するに至つた

內鄕商工會
愈よ結成へ

內鄕町では中小企業者の團結を圖るため二十六日午後一時から役場會議室で懇談會を開いた結果、商工會を結成に決し準備委員長として本田辰雄副委員長佐藤榮、沼田一夫の三氏を選出した

スポーツ便り

東北高校籠球 磐女高優勝

第五回東北高校バスケットボール選手權大會は二十四、五の兩日盛岡高校コートで開催吾等が磐女高チームは準決勝に大曲女高を三八對三〇で一蹴決勝戰に臨み地元盛岡女高と決戰を交えたが磐女高の攻擊愈々鋭く前半早くも十八對十五とリード、後半戰に二十對十五と大きくリードの儘押し切つて結局三十八對三〇で初の制覇を遂げた

高校野球 リーグ戰

廿四、五日の戰績

郡下高校野球リーグ戰二十四五の兩日は磐高球場にて行われたが戰績次の通り

△磐高4對0小名濱高△平工高5對4磐農高△內鄕8對5湯本高磐高8對5平商△平工18對4湯本高△內鄕高7對1小名濱高△磐高8對6磐農高

平工高大勝 對湯本高野球

湯本高對平工高野球戰は二十五日午前十時から磐高球場で開戰湯本高振わず十八對四で大敗した

常磐辛勝 對宇鉄野球戰

常磐炭鑛野球部では二十五日宇都宮鐵道局を招いて午後三時から綴員球場に一戰を交えたが兩軍共に善戰好斗、雌雄容易に決せず十四回の延長の末9A對8で常磐に辛くも凱歌が上つた

縣高校七人制ラグビー大會 一日平工高で

縣下高校七人制ラグビー大會は來る一日午前十時から平工高グランドに磐高、平工高、小名濱高、內鄕高、双葉高、石川高、配電ラガー、平ラガーの八チーム集めて開催する

水泳講習會 一日磐高で

石城平地區水泳傳達講習會は七月一日（雨天の時は八日）午前八時半から磐高で、東大講師吉田勝平、小名高敎諭小林正毅、磐高敎諭千葉孝の三氏を講師として開催される

大浦にも疫痢

大浦村狐塚加藤シゲ子ちやん（四ツ）は二十五日疫痢と決定した

鋸で顏を引く 兄弟喧嘩から

內鄕町大字白水大工湯川助三郎（二二）は二十五日午後十一時三十分頃泥醉の上、些細の事から實兄辰雄（二五）とケンカ、ノコギリで顏面を毆打し右眼下に十二針ほどの傷害を與え二十六日內鄕署へ

天氣予報 二十七日

【今晚】北よりの風晴時々薄曇

【明日】朝夕は北西日中は南よりの風よい天氣時々薄雲が擴がる、ツユは明け夏型の氣壓配置となり、二、三日よい天氣が續く、海上は多少波立つが大体おだやか

これは見逃せぬ 3本に1本當り！
宝くじ
スバラシイ好條件で 13等でも…1萬圓
【賣出開始】
日本勸業銀行

海賊バラクーダ
ケン爛眼を奪う總天然色の海洋活劇!!
怒濤と血しぶきの中のスリルとロマンスの海賊と姫君の戀！
ポール・ヘンリード　モーリン・オハラ
28日より　聚樂館

金剛院 葬送の際は御多忙中にもかかわらず遠路態々御會葬下され且つ御鄭重なる御香奠を賜わり御芳志誠に有難く深謝致します
拜趨御禮申し上ぐ可きの所略儀ながら紙上を以て御禮申上げます

昭和二十五年六月二十六日
小名濱町本町三
喪主 鈴木好晴
親戚總代 鈴木巖
友人總代 小野務平

話題スター志賀曉子再起第一回主演映畫
夫を殺した男に身をまかさねばならなかつた宿命の女の悲劇を描くスリラー巨篇
太泉映畫 狼人街 演出 佐伯幸三
宇佐見淳 志賀曉子
28日より4日間
平文化

（先ず經濟は頭から）
一五〇圓の瓶詰が六〇圓で買えます
壽の ハカリポマード ハカリ椿香油 ハカリクリーム
壽百貨店 平驛前 電656

泌尿器科 性病科 皮膚科
平市縣社下 矢吹醫院 電一一九三・一二九五番

初夏の味覺！
生ビール
新開樓 平市中央通 電1136

品質最高 純粋輸入原料使用
リスカレー
コショー・七味唐カラシ

水産版

水産製品檢査所東北ブロック會議は來月四、五兩日青森で開く、本縣から星技師出席

經濟行爲を認む 縣漁協連總會
會長鈴木 副會長三代、菊地

縣漁業協組連合會の通常總會は二十三日午後一時より平市縣水産事務所で開き△定款の變更△會務規定の設定△二十五年度事業計畫△借入金最高限度の決定△余裕金の預入銀行の決定△農林中央金庫への加入△員外理事の設定△員外理事の選擧△理事、監事並に會長の改選△役員報酬の決定の議案を審議、原案通り別項の如く決定した、なお新役員は鈴木會長が再選されたほか次の通り決つた（理事、監事各一名保留）△會長鈴木常松（四倉）△副會長三代義勝（小名濱）△菊地要重（中村）△理事三代義勝（小名濱）高木好之助（久之濱）菊地要重（中村）松本甚兵衛（小高）寺島源治（磯部）西關長次郎（眞野川）長谷川長太郎（四倉）鈴木常松（四倉）佐藤喜一（員外、元縣水事務）△監事志賀長松（請戸）三瓶一見（富熊）

役員の任期は三年

（別項）今度の定款變更では今まで經濟行爲は出來ないことになつていたのを『必要な物資の供給』をはじめ共同利用に供する施設の運營、生産物の運搬加工保管又は販賣所屬員の監査及び指導等の經濟行爲を認めたほか役員の任期を三年（今まで二年）とした、二十五年度借入金の最高限は千万円以內、余裕金の預入銀行先は七十七銀行四倉支店、常陽、東邦各銀行平支店とし二十五年度理事及び監事の報酬總額は十八万四千五百円以內とそれぞれ決めた

七月一日ごろから事業に着手する【資金調達計畫】△出資金百万円△長期借入金四百五十万円（縣水設備の引繼で三百万円農林中金より借入製氷設備修理百五十万円農林中金より借入）△短期借入金三百万円（販賣事業資金に二百万円、購買事業資金に百万円農林中金より借入）【資金計畫】◇固定資金五百万円△流動資金三百五十万円▽合計八百五十万円

縣水の施設 引繼ぐ
業務は製氷業

本年度は漁業用資材並びにこれに關連する物資の購買事業冷凍原料としての鮮魚類の買取販賣並びに傘下の生産物の委託販賣又は販賣斡旋等の販賣事業を主として行うこの業務並びに製氷事業、凍結保管事業は縣水産業者會より施設を引繼ぎこれを以て行うほか隨時水産に關する技術、協同組合の經營に關する知識の向上の爲の講習等を開く製氷冷凍工場は大修理を行つたのち

來月から水路部の測量
小名、江名で

第三管區海上保安本部（横濱）の水路部では七月から三カ月間小名濱、江名、中の作の三港の海圖作製のためいよいよ測量班が來港する、小名濱海上保安署に入つた連絡によれば木下達氏以下十名の測量班は七月一日から八月十九日まで小名濱港、八月二十日から九月二十八日まで江名、中の作兩港を測量する爲小名濱と江名に水路部測量班事務所が設けられる事になつている

漁況停滯氣味
ピン長、鰹漁はまだ有望

縣水試の發表によると二十五日現在の海況並びにカツオ漁況は次の通り

○…銚子沖三十乃至六十マイルを北東に北上する黑潮主流（二十四度）の水帶は西より發達しその先端は鹽屋東方百二十マイル附近にありこの東では北緯三十五度東經百四十六度及北緯三十八度東經百四十六度附近まで二十二度の水帶が廣範に分布している

○…目下ピン長並びにカツオ漁場はこの水帶及びこの外側にある二十二度乃至二十度と接近した潮境で各船共かなりの漁獲をあげている模樣

○…主漁場は次第に東方沖へと移り北緯三十四度四十分より三十六度三十分、東經百四十五度より百四十六度三十分の範圍には鮫、鯨、木、鳥付鰹及びピン長大群がおり多各船で賑わつている目下三十八度線より北には船少なく可成り發達している北上暖流の先端における漁場は判らないが北緯三十八度二十分東經百四十五度二十五分附近及び遙か沖の三十七度五十分東經百四十九度三十分附近で鰹群を認めている

○…本縣船は百四十七度線を中心に北緯三十五度乃至十六度附近に集つているがここ數日來餌付不良で見るべきものがない

船員統計調査
卅トン以上の漁船該當

東北海運局小名濱支局では全國一齊に行う第一回船舶船員統計調査に呼應して三十トン以上の漁船について六月三十日現在でこの調査を行う、調査內容は乘組員の年令別人數乘組員の給與等で七月二十日までに提出しないと六カ月以下の徵役、五千円以下の罰金に處せられる、届出の義務者は三十トン以上の漁船で實際に船員を使用しているもの、この場合必ずしも名義人とは限つていない、また乘組員は雇用關係の有無を問わず乘船者は全部記載しなければならない、なお同支局では届出者は役場に關係なく一枚の用紙に記載すること、各ハマの漁業協組が取まとめて支局に提出する、下部の余白欄に業種別例えばカツオマグロ、以東底曳、旋網、その他の漁業等と記載する事を注意している

鯵釣で黑山の人
小名濱岸壁

○…小名濱港の水温はこの春以來高温が續き五月は平年より平均四度五分高、今月に入つてからも四度一分高となつている、このためか小名濱港內の三千トン岸壁先の突堤は鯵釣の人々で黑山、大人は勿論子供まで釣竿もつて鯵釣が盛況—

○…ここで釣れる鯵は五六寸の中もの、餌はホクロ（皮かぶり）で子供でさえ百尾以上も釣上げると云う好調子、特に朝晩は餌付よいと云う定評こんなに鯵が岸壁に寄つたのはここ數年珍らしいと釣師たちは語つている

第八伸洋丸 南方鮪漁へ

江名町遠藤伸敏氏所有大型漁船第八伸洋丸（百五十四トン三百五十馬力、船籍東京都）は今度のマグロ船團に參加、赤道直下の南方マグロ漁に從事している

指導船に魚群探知機
縣會に予算案の提出決る

縣では指導船共盛丸（百二十八トン）に超音波魚群探知機を裝置するため六月定例縣會に九十五万円の豫算案を提出する

この豫算が通過すれば本縣のトップを切つてこの魚探を取附けるわけだが縣水試がこの豫算を急いだわけは既に本縣に寄港する漁船の中にはこの裝置をもつたものが多く早くも〃魚探時代〃が到來したので先ず指導船がこれを取付けこの結果によつて縣下の各漁船もこれにならおうと云うもの、早くもこの實現を期待されている

加工用の砂糖
始めての配給決る

廿五年度第一、四半期水産加工用砂糖が本縣に割當になつたので縣水産製品檢査所では近くこれが個人割當を行う何せ加工用に砂糖が配給になるのは今度が始めてなので配給割當について相當難しいものがあるらしく結局今までの實績と衛生的設備、製造能力を勘案し各ハマの水檢支所で割當ることになる、縣全体の割當量は

△佃煮一、九六〇キロ△煉製品六、〇〇〇キロ△燒竹輪一、〇〇〇△罐化燒一五〇キロ

で水産製品檢査所各支所別の割當は次の通り（單位キロ）△小名濱佃煮四二〇、煉製品一、〇八〇、燒竹輪二三〇△江名佃煮五四〇、煉製品四、〇二〇、燒竹輪七二〇、罐化燒一五〇△四倉佃煮四二〇、煉製品七八〇、燒竹輪六〇△中村佃煮九三〇△その他（福島、郡山等も含む）佃煮六五〇、煉製品一二〇

水試無線局舍
來月から 着工

縣水産試驗場無線局の移轉はいよいよ地主側の了解も得たので二百二十万円を以つて水試の裏山に當る播摩の作地內に來月一日から着工、八月までに完成の豫定で敷地二百坪木柱二本、平屋建三十九坪を建築する

行商にも届出制實施か

食品衛生法の一部改正にともない七月一日から魚市場、小賣店舗の許可受付けが開始されることになつたがこれと同時に魚屋行商も登錄制になる模樣である、行商に關する登錄制の內容は一定の容器、仕入先、住所氏名、健康診斷書その他を必要とし從來の統制撤廢で無放任の狀態にあつたものをこの登錄制の實施により衛生面に於いて監理を一段と強化されるわけでタコの中毒などあつた場合、今後は仕入先に急速に手をうたれるわけ、なお行商登錄に關する決定は來月初旬頃縣下保健所の連絡會議の席上決定される模樣でこれが終り次第魚商店舗魚市場の許可受付開始も縣の條令公布になり次第始めることになる

合格者決る
舟大工養成指導員

第一回舟大工技能者養成指導員資格檢定試驗は五月二十九三十の兩日小名濱造船所、小名濱水産試驗場で行われたが三十日平勞基署から合格者を次の如く發表になつた

◇中之作造船所門馬三郎◇有限會社四倉造船所佐藤寶◇磐城造船所長谷川忠衛、中井淸治、新妻仁太郎、佐藤啓太郎、關根良夫、鈴木啓一、佐藤喜松、新家義松鈴木光雄、佐藤酉之助◇江名造船所坂本喜平◇中之作造船所松本平藏、共江造船所鈴木促五、新妻新一、宮口勝、鈴木光明、今井市松木下助三郎、野崎武太郎、安部勉、吉田正男、志賀熊太郎◇又新造船所小野安吉◇飛田造船所鈴木吉次◇柳內造船所鈴木美彌太◇菱谷造船所菱谷忠◇藤社造船所藤社恒雄◇四倉造船所松井田虎一、遠藤貞雄、新家爲男◇江名造船所鈴木彥三郎◇常磐炭鑛五十嵐德治

クロコ漁も期待薄
底曳終漁期近ずく

底曳漁も愈々今月いつぱいで一應切上げることになつた―小名濱機船底曳漁協組では底曳船四十隻ある內現在出漁しているのは半數以上の二十七隻であとは休船して修理中とある、漁況も毎日平均一隻當り僅か百貫乃至百五十貫、びんちよう釣りに轉向した船もおもつたよりかんばしくないため底曳に逆戻りしている狀態でびんちよう釣りにまた轉向出來ると云う二段構えでおし進んでいるものの期待は薄いそれに昨年は今頃からクロコザメが相當獲れたのでこれでやつと一息ついていたが今年は群が薄いとあつて僅かにイカが獲れているだけ、此分では昨年の漁獲高の半分まではゆかないだろうと同漁協組では語つている

指定醫師

東北海運局小名濱支局では船員法規則により年一回船員の健康診斷を行うことになつているのでこの程指定醫師に小名濱町榔町堀越常雄氏（內科醫）に依賴することになつたこれで指定醫は小名濱町安田卿一氏と二名になつたわけ

旋網賑う
北海道でも

旋網によるブリ、サバの水揚げで小名濱港は相當の賑わいを示したが旋網漁協組の調べによると出漁船は七統で七日から二十日までの水揚げは（單位貫）【地船】△七日一四、二四七△八日一四、九六九△九日一〇、六四七△一二日一五二△一三日四、六〇〇◇一四日二六、五六六◇一五日三一、九二〇◇一六日七五三一◇一七日三四、四三〇◇一八日八、四五一◇一九日一、三五九◇二〇日一、一四四【廻船】◇七日一、一九一◇八日二、九〇四◇一〇日一九三〇◇一二日八一七◇一三日八六◇一七日一、一二七◇一八日、一三七◇一九日七二九この數日來小名濱では一時水揚停滯したが北海道に遠征した九統はサバの豐漁に惠まれていると連絡があつた

漁協組の優良例を紹介
水産廳で呼掛

水産廳では全國の漁業協組の中から優良な實例があればそれを弘報で紹介することになつているので縣水産事務所では次のものに該當する組合があれば同事務所に報告するようにすすめている

△運營の優良例△經理事務處理の優良例△事業活動の優良な具体例

事業報告書作成打合會

縣水産事務所では二十八日午後一時より久の濱以南の漁業協組の關係者を集め二十四年度事業報告書作成指導打合會を開く

今週の潮

	滿潮		干潮	
廿八日	一、一〇分	一七、〇五分	九、二〇分	二一、二〇分
廿九日	一、五五分	一八、〇五分	一〇、〇五分	二二、一五分
三十日	二、四〇分	一八、四〇分	一〇、四〇分	二三、五五分

ラジオ JOCP JOHQ

【28日】郡山放送ローカル

前七・二五 宗敎の時間『滅の幸福』梅津幸二生長の家縣信徒連合會長

後六・三〇 青年の時間『山はまねく』椎野喜男安高敎官

小名濱局新設電話

五二五 サー鮮魚仕出し ちぢれ新家 馬上豐 元分三

五二六 邊渡會計事務所 定西一六

五二七 水産加工業 アンダ 小松利平 古湊一六一

五三七 小名濱海上保安部 榮町一

五三八 銘酒鶴仙 渡邊秀雄商店 榮町

五四〇 貨物自動車の御用命は五四〇番へ 門馬保 上町八二

五四二 平保健所小名濱分室 本町二三

五四三 福島縣水産物檢査所小名濱支所 古湊一九六

五四四 短期仕上洗張、染物 機械クリーニング 吉田クリーニング店 定西大通り

五四九 御菓子の御用命は 日の出屋菓子店 米良歸一 古湊廿四

五五四 生菓子 アイスキャンデー 冷菓 熊田菓子店 定西三七

五六二 柏屋食料品店 加藤勝郎 上町一〇

おできくさ、胎毒

ヒフ病退治藥種々

手常法發生法親切丁寧にお話します 遠くからワザワザ來られた方々の感謝狀澤山 愉快です

藥のことなら勉強している

ダルマ藥局 小名濱町本町電一二三番